平成３０年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針

施設名：大阪府立中之島図書館

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 評価項目 | 評価基準（内容） | 施設所管課評価 | 評価委員の指摘・提言 | 改善のための対応方針 | 次年度以降の事業計画等への反映内容 |
| Ⅰ提案の履行状況に関する項目(3)利用者の増加を図るための具体的手法・効果 | ①施策に取り組んだ結果、利用者の増加に反映されているか　・平成30年度目標　入館者数 : 378,864人（平成29年度実績：358，282人）②提案された情報発信プランに沿った広報が実施されているか・HP更新回数　 平成30年度目標：89回（平成29年度実績：117回）・HPアクセス数　 平成30年度目標：28,135回（平成29年度実績：37,163回）・SNS発信回数　 平成30年度目標：241回（平成29年度実績：241回）・SNSフォロワー数　平成30年度目標：60人増加（平成30年4月16日時点510人）③多目的スペースの利用について、施設のコンセプトに合った活用方法を提示し、目標利用率・目標収入額の達成のための取組みが適切に実施されているか。・有料利用稼働率　 平成30年度目標：7.49％（平成29年度実績：6.62％）・収入額　 平成30年度目標：1,066千円（平成29年度実績：977千円） | Ａ | 〇多目的スペースの稼働率をいかに上げるのか、利用のきっかけの把握や利用者の声の分析に取り組めばよいのではないか。 | 〇指定管理者に対し多目的スペースの利用のきっかけ等の調査及び分析の実施を求め、分析結果に基づいた稼働率増加のための取組みを検討・実施する。 | 〇多目的スペースの貸室利用者を対象とし利用動機等のアンケートの実施及び分析を行い、分析結果に基づいた稼働率増加のための取組みを検討・実施する。事業計画においては、稼働率増加のための取組みによる稼働率増加を見込んだ収支計画とした。 |
| Ⅱさらなるサービスの向上に関する事項(1)利用者満足度調査等 | 利用者満足度調査を実施し、分析結果をフィードバックしているか | Ａ | 〇アンケート結果がどのように所管課評価に反映されているのか、関係性を示した方がよい。 | 〇次年度以降の評価票において、利用者満足度調査に関する評価基準を細分化しアンケート分析結果のフィードバック状況について明確に評価できるよう設定する。 | 〇平成31年度の評価票において、利用者満足度調査に関してアンケート分析結果のフィードバック状況についての評価基準を追加する。 |
| 評価全般について | 〇適切に評価することで継続的に指定管理業務を向上させていくため、評価期間の設定・四段階評価の判断基準・目標値の設定方法について検討願いたい。 | 〇次年度の評価票作成に向け、評価期間の設定・四段階評価の判断基準・目標値の設定方法について検討を行う。 | 〇評価期間の設定・四段階評価の判断基準・目標値の設定方法について検討し、必要があれば次年度以降の評価票に反映させる。 |